

(別紙4(2))

事業所名 グループホームあんずの里

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 4 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23・26	聴取・日常で捉えた意向や要望を別紙にて共有する。センター方式C-1-2を活用してはどうか。介護計画を立案する際は、介護職員のみならず、多職種をチームと捉え、医師・看護師など専門職の意見も確認し、介護計画を立案してはどうか。	ケアプランの立案・見直し時のアセスメントを統一した方式で行い、共有し、理念にある「その人らしく」に沿ったケアに繋げていく。	①センター方式C-1-2(私の姿と気持ちシート)の理解が深まり、活用できる。 ②ケアプランの見直しに際して、医師・看護師の意見が確認できる。 ③プラン内容を共有する。 *グループホーム会議、ユニットノート等。	6ヶ月
2	4	運営推進会議が更に意義のあるものとなるよう、委員会の活動内容等も報告してはどうか。出席者の肩書も議事録に記載すべき。出席できない家族へ、情報共有のため配布してはどうか。	運営推進会議を通じて、地域へ参加する機会の把握と当施設の活動報告を行っていく。	①運営推進会議録の修正。 ②ご家族様へ議事録を配布し、情報共有を図り、運営等に関し、深く知っていただく機会とする。 ③1回/年以上、家族交流会を継続していく。	6ヶ月
3	10	前提として「家族は遠慮気味になり、直接職員へは言いづらい」というものである。職員から家族へ話しかけ、意見を言いやすい環境づくりや事業所として入居者・家族アンケートを行う等、更なる工夫が必要。	ご家族様・ご利用者様からの声を集め、事業所の運営、業務改善等に繋げていく。	①ご家族様を対象に利用満足度調査の実施。 *アンケート方式で郵送。 ②意見箱を改修し、投書しやすい環境を作る。 ③ご利用者様が意見できる機会を設ける。 ④1回/年以上、家族交流会を継続していく。	6ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。